

1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

学校名	矢掛町立三谷小学校	実践者名	岡野 洋次
教科	国語科	学年	1年
活用内容	インタビュー 文章作成 (意見交流)	実践日	令和3年12月2日
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
単元・内容等	<p>「ともだちのこと、しらせよう」 友達について、どんなことを知りたいのかを考え、質問（インタビュー）をする。質問したことを基に、友達のことを知らせる文章を書く。</p>		
<p>活用の概要（目的・活用場面・使用アプリ名を含む）</p> <p>(1) 友達に「好きな食べ物」や「好きなスポーツ」等知りたいことを質問する。 ・自身の質問と、友達の回答の内容をドキュメントの音声入力機能を使って文字化する。</p> <p>(2) 入力された文字にルビを振る。 ・音声入力された文字は自動的に漢字に変換され、1年生は読めないので、ChromeWebストアの拡張機能の「サテライトオフィス・ふりがな付与機能*」を使用して文字にルビを振る。</p> <p>(3) 質問と回答を原稿用紙に書く。 ・音声入力されたドキュメントをスクリーンショットで画像として保存しておくことで、友達との会話文を見ながら原稿用紙に必要なことを書けるようにする。</p> <p>(4) ペアで感想を伝え合う。 ・感想を伝え合う際は、Jamboardに画像を貼り付けたものを使用する。</p>			
実践者の手ごたえ		児童生徒・保護者等の主な反応や声	
<p>音声入力機能は、話せば文字が入力されるので、1年生にとって自分の考えを記録する際に役立つと感じた。国語だけでなく、他の教科の学習でも活用したい。</p>		<p>(児童のようす) 自分の話したことがそのまま文字入力されるので、意欲的に質問をすることができていた。</p>	



*サテライトオフィス・ふりがな付与機能

…日本語ウェブサイトの漢字に「ふりがな（ルビ）」を付与する機能

https://www.sateraito.jp/Lab/Add_furigana.html#trial